事　務　連　絡
令和６年１月２４日

公益財団法人日本スポーツ協会　御中

スポーツ庁地域スポーツ課

『デジタル部活動・地域クラブ活動』プロジェクトについて

今般、スポーツ庁において、デジタル動画を活用した部活動・地域クラブ活動のサポート体制を構築することを目的として、添付の通り、『デジタル部活動・地域クラブ活動』プロジェクトに取り組んで行くこととしております。

本プロジェクトの背景として、部活動改革が、単なる地域へのスライドではなく、持続可能で多様なスポーツ機会の創出を目指すものであり、そのためには、地理的・人的要因による体験格差を生じさせないことが極めて重要であることから、デジタル動画の活用が効果的な手段の一つと考え取り組む次第です。

具体的な取組の一つとして、競技団体等が保有する既存コンテンツ活用も含め、子供自身の基礎的・専門的技術の習得を可能とする自主学習向けのトレーニング動画の収集及びスポーツ庁ホームページ内の特設サイトによる発信を検討しておりますので、令和６年度に事業を実施する際には、貴協会や加盟の団体にお力添えいただけますと幸甚です。

本プロジェクトについて本日の長官記者懇談会で発表させていただきましたので取り急ぎ貴協会に情報提供させていただきます。適宜、加盟団体にも情報提供いただけますと幸いです。よろしくお取り計らい願います。

本件についてご不明な点等ございましたら下記の担当者までお問い合わせください。

別添　『デジタル部活動・地域クラブ活動』プロジェクト
～デジタル動画を活用した部活動・地域クラブ活動のサポート体制の構築～

【本件担当】
〒100-8959
東京都千代田区霞が関 3-2-2
スポーツ庁　スポーツ戦略官　中平
電話：03-6734-2673（直通）
E-mail：knakahira@mext.go.jp

『デジタル部活動・地域クラブ活動』プロジェクト

～ デジタル動画を活用した部活動・地域クラブ活動のサポート体制の構築 ～

スポーツ庁

趣旨・背景

- 部活動改革とは、単なる地域へのスライドではなく、**持続可能な形で子供たちの多様なスポーツ活動の機会（マルチスポーツ環境）を創出**していくことが重要
- その際、地理的・人的要因による**スポーツ体験格差を生まないことが極めて重要**であり、そのためには、各競技共通の基盤となる要素と、各競技ごとに特化した専門的な要素の双方について、デジタル技術を駆使した**スキル学習動画等を活用できるシステム形成が必要**
- こうした課題に対応するため、大学・スポーツ団体・民間企業が持つノウハウの活用による**デジタルコンテンツの充実**と、**活用のためのポータルの新設**により、部活動や地域クラブ活動の支援体制を強化し、生徒が主体的に学ぶ環境を整備
- 子供のマルチスポーツ環境の質の向上を図るとともに、副次的効果として学校の働き方改革等にも貢献

＜デジタル実装に向けた ３本の矢 概要＞

第２の矢
専門スキルの習得に向けた体制の構築

スポーツ庁の委託事業の中で作成されたコンテンツや、個別の競技団体（NF）や民間等で独自に作成されたコンテンツ（※情報収集を行い、各作成者と調整を図った上で）を、スポーツ庁HPに新設する特設サイト（ポータル）に掲載することで全国津々浦々で活用できる環境を整備。

第１の矢
基礎スキルの自主学習に向けた仕組みづくり

子供が自主的に最低限のスキル（例：①立ち方・姿勢、②打ち方・握り方、シューズの履き方、③適切なウェア、④ルールとその活用、⑤スポーツの歴史・背景・記録など）を学ぶことを目的にした動画等による指導の手段等について検討の上、仕組みづくりを実施。

第３の矢
実証によるコンテンツの充実と活用拡大

「地域クラブ活動への移行に向けた実証事業」の重点地域における政策課題の1つとして「動画コンテンツの活用」を盛り込み、重点地域に指定された都道府県において第１の矢、第２の矢の成果も活用しながら試行。

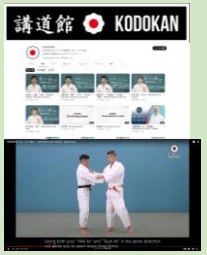
基礎スキル・専門スキル動画を活用した各都道府県における現場での実践

例えば…

バスケットボール　卓球　陸上　野球　サッカー　柔道

各競技ごとに特化した専門スキル

土台となる基礎スキル



【画像提供】
公益財団法人講道館